

## 課外ゼミ活動報告

### 文学散歩サークルかちかち山

顧問・指導者 近衛典子

人員二十七名 報告者 小柳優梨

〔活動内容〕

本年度の活動として、五月に早稲田周辺での夏目漱石に関連する史跡巡りと目黒周辺での旧前田家や百段階段の見学など、近代の日本を探る踏査を行った。また、九月には深川散策を実施し、松尾芭蕉の足跡を辿った。昨年と同様に活動の流れは、企画者の作成したしおりをもとに、参加者が各自で下調べをした後、実際に文学や歴史に直接肌で触れ・感じるべく散歩をするという形をとった。国文学科以外の学生の加入もあり、学部学科の垣根を越えた交流を通して、様々な視点から文学や歴史に触れられ、ただの観光に留まることなく、知識を深め、互いを高め合うことができた。

### 日本語史研究会 活動報告

顧問・指導者 土井光祐

人員十一名 報告者 大原理咲

〔活動内容〕

オンラインを主たる活動の場として、各自が取り組んでいる日本語史関連のテーマについて成果や疑問点を報告し合い、

### 現代小説研究会

顧問・指導者 倉田容子

人員二十名 報告者 杉沢和香

〔活動内容〕

本年度は、コロナ禍以前の読書会の形式を引き継ぎつつ、オンラインでの活動が主な年であった。題材として取り扱った作品の一例は芥川龍之介『地獄変』や夢野久作『少女地獄』。担当者がこれらの作品について発表した後、参加者全員で議論を交わした。他ケン・リュウのSF小説『紙の動物園』を扱ったりと、近現代文学作品の中でもさらにジャンルや国を広げての活動をしている。視野を広げる非常に有意義な経験となった。また現代小説研究会では、秋の大学祭にて「ストレイシープ」という部誌を発行している。有志の参加者のみ・電子媒体という形ではあったが、自らも文章を綴ることで、より深く文学に触れることが出来た。

ディスカッションを行って知見を深めた。

教場に集まって日本語史資料を輪読する活動はできなかったが、オンラインにより活動時間を柔軟に設定できるようになったため、在学生にとっても出席しやすくなり、遠方在住のOB・OGの方々の参加も可能となった。日本語史の知識を深めるだけでなく、卒業論文、就職活動、教員採用試験等、さまざまな情報や助言を得る貴重な機会となった。

## 中世文学研究会

顧問 櫻井陽子先生

人員三名 報告者 村越すみれ

〔活動内容〕

中世文学研究会では、『平家物語』を中心として、中世の軍記物語の理解を深めることを目標に活動を行っている。過去の活動では、『平家物語』から取り扱う章段を決め、担当者が用意した資料をもとに複数のテキストを読み比べた。一般的によく知られている「覚一本」とその他のテキストの違いに触れ、発見や疑問点などを出し合い、『平家物語』や歴史についての知識を共有した。

今年度は、会員が四年生のため研究会としての活動を行うことができなかった。来年度は新規会員の入会と、新たに活動が再開されることを願う。